

文化庁「地域文化財総合活用推進事業」として 「大山こま製作現場見学会」が開催されます

大山こまを製作している生の現場や、実際に使用されている道具などについてこま作り職人による解説を行う、「大山こま製作現場見学会」が開催されます。

江戸時代から製作され続けている「大山こま」は、木地師による特徴的な技術を後世に継承する上で重要な文化財として、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されているほか、日本遺産「大山詣り」の構成文化財にも選択されている、本市の代表的な伝統工芸品です。

なお、本見学会は、大山こまの伝統技術を広く一般に公開することを目的に、文化庁が公募する「令和5年度文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）」の事業として実施するものです。

詳細は別添チラシをご確認ください。

- 事業名
大山こま製作現場見学会
- 開催日時
令和6年2月17日（土）
午前の部：10:00～11:30
午後の部：13:00～14:30
- 開催場所
金子屋作業場（子易 1027）
- 主催
伊勢原市地域文化財保存活用協議会（事務局：伊勢原市）
- 添付資料
大山こま製作現場見学会（チラシ）.pdf

担当・問い合わせ先
教育総務課 0463-74-5109

大山こま 製作現場見学会

江戸時代から大山詣りの代表的な土産物として製作され続けている伝統工芸品「大山こま」。現在も木地師と呼ばれる職人によってその技術が受け継がれています。本見学会では大山こまを製作している生の現場、そして実際に使用されている道具等を御見学いただきます。



令和6年2月17日（土）

午前の部：10:00～11:30

午後の部：13:00～14:30

◆申込不要・参加無料

◆各回定員20名（先着順）

【会場】

金子屋作業場（伊勢原市子易 1027）

「鳥居前バス停」下車すぐ

金子屋の看板が目印

※駐車場はありません。

公共交通機関をご利用ください

大山 三の大鳥居



主催：伊勢原市地域文化財保存活用協議会

問い合わせ先 伊勢原市教育委員会教育総務課

電話：0463-74-5109